

2 各教科等における改訂の具体的な方向性

新学習指導要領では、義務教育や高等学校教育を終える段階で身に付けておくべき力を踏まえ、発達の段階に応じた縦のつながりと、各教科等の横のつながりを意識して、**資質・能力の三つの柱**をもとに**各教科等の目標や内容が再整理**されました。（別添資料にある「各教科等における教育のイメージ」を参照）

すべての教科・科目等の目標のフレーム

目標 「見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する」

- (1) 生きて働く「知識及び技能」の習得
- (2) 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
- (3) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

「②各教科・科目等の内容の見直し」は、
答申の第2章の構成に従っています。

各教科・科目等における

- A 「育成をめざす資質・能力」
- B 「見方・考え方」※
- C 「科目構成や教育内容」

「何のために学ぶのか」という**各教科の本質的な意義**と、子どもたちに必要な資質・能力を育成する上で**各教科が果たす役割**を明確にするという考え方です。



※ 答申の別紙1には、「各教科等の特質に応じた見方・考え方のイメージ」が示されています

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の 学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）

平成28年12月21日 中央教育審議会

別添資料【目次】

別添 1	幼児教育	1
別添 2	国語	2
別添 3	社会、地理歴史、公民	7
別添 4	算数、数学	28
別添 5	理科	33
別添 6	高等学校の数学・理科にわたる探究的科目	38
別添 7	生活	41
別添 8	音楽、芸術（音楽）	45
別添 9	図画工作、美術、芸術（美術、工芸）	50
別添 10	芸術（書道）	57
別添 11	家庭、技術・家庭	60
別添 12	体育、保健体育	66
別添 13	外国語	72
別添 14	情報	84
別添 15	主として専門学科において開設される各教科・科目	88
別添 16	道徳教育	93
別添 17	特別活動	98
別添 18	総合的な学習の時間	109

※ 本資料は中央教育審議会における議論をまとめたものであり、今後文部科学省において法制的な観点からの整理を行い告示する。

◆ 中教審答申（文部科学省webページ）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1380731.htm

平成28年12月21日に中央教育審議会答申が出されました。
「別添資料」は114ページあり、分割ファイル(1/3)(2/3)(3/3)で紹介されています。

